

ほつかいどう NIE 通信

Newspaper in Education



発行 北海道NIE推進協議会

〒060-8711 札幌市中央区大通西3丁目6 北海道新聞社内 ☎ 011-210-5802 FAX 011-210-5826

北海道・東北ブロックのNIEアドバイザーによる、初のブロックセミナーが8月28日、青森市の東奥日報社で開かれた。来年度、小学校からスタートする新学習指導要領の取り組みや、同市で来夏開かれるNIE全国大会などについて話し合った。

全国大会は来年7月25、26の両日開かれる。開催地となる青森市と、活発なNIE活動で知られる北海道が隣同士、連携をと日本新聞教育文化財団が両地域の事務局長会議を兼ねて開催した。

枝元一三NIEコーディネーターが司会。道NIE推進協議会の高辻清敏会長とアドバイザーの高瀬敏

樹・札幌旭丘高教諭、深沢昌明・函館市立神山小教諭ら道内から6人、東北からは青森などのアドバイザーと各協議会事務局長ら20人が参加した。まず道教大旭川校出身で地元・青森県NIE推進協議会長の児玉忠・弘前大教授が「学習指導要領の改訂とNIEの課題」と題して講演。新聞は速報性でネットに変身する。大きな見出しの話題をとらえて教師から児童に投げかけると、児童一人一人の社会への関心も高くなると感じた。

本校には春に赴任した。から新聞大好き人間だった。時事問題や社会面などを見ながら徐々に理解が深まった時、一人「悦に入つた」自分がいた。校長になつてから、教材としての新聞の有用性を伝えるため、卒業期の6年生に新聞を使つて授業したこともある。インターネット動画配信など、時代が変わり、新聞が電子媒体に移行しようと広げる新聞の味は格別である。何より世の中の動きが瞬にしてわかる。これからも児童に新聞の魅力・価値をぜひ伝えていきたい。

北海道新聞ホームページ「NIE」(www.doshin-nie.com/)でバックナンバーから閲覧できます

北海道・東北 初のブロック会議 新学習指導要領 好機に

青森推進協児玉会長が講演



新聞を読む子は伸びる

札幌市立もみじ台南小学校長 村上 直史

書いてあつた。新聞の魅力が再確認でき、大いに納得した。

担任時代はずいぶん新聞を全児童に配布するキャンペーんに応募した。児童が1週間毎日読むことで、「泉」であり、生きた資料そのものと固く信じ、これまで児童に指導してきたからである。

本稿執筆中に、全国紙のPR版がわが家に届いた。テレビのニュース解説者池上彰氏の「小学生から新聞を読む子は大きく伸びる」という言葉を聞いて、私は驚いた。私にとって新聞こそ「知識の源泉」であり、生きた資料そのものと固く信じ、これまで児童に指導してきたからである。

本校には春に赴任した。私が再確認でき、大いに納得した。

北海道新聞ホームページ「NIE」(www.doshin-nie.com/)でバックナンバーから閲覧できます

ブロックセミナーと共に開かれた事務局長会議



会議では、地域の実情に応じて新たな人材の発掘に努めている道内の状況、一方の東北からは各县の活動にばかりつきがある現状などを報告された。

実践報告では、札幌市立宮の森中の及川永江教諭が、参院選の社説を読み比べる授業などについて報告した。

記事を書いてくれれば使いやすい。あれはどういうことかという疑問にこたえる紙面を増やしてもらえば」と授業で使える形を紹介した。教科学習との連携で小学校の中、高学年などでより細分化した「子ども新聞」がつくれないか、もあわせて提案した。

3力所でセミナー 出前授業や報告

保護者迎え「命」考える 網走

当協議会主催のNIEセミナーは網走市(9月10日・道新岩見沢市(10月16日・道新

ミニターは網走市(9月10日・道新岩見沢市(10月16日・道新



記事を読み比べ、違いを探す生徒たち。後方が郡司教諭

知る権利守るマスコミ 一方課題も 報道との接し方学ぶ

9月8日の5時間目。同中3年B組(21人)で、社会科で「報道」への関わりを学んでいた。公民的分野「わたしたちの暮らしと民主政治。暮らしとつながる政治」。

担当の郡司直孝教諭は、後にオウム真理教の犯行が明らかになる「松本サリン事件」で犯人扱いされた河野義行さんの冤罪(えんざい)被害を扱った資料や映画を見せて事前に学習、警察の捜査に引きずられやすいマスコミの体質や問題点を教えた。

鹿部中

実践校 リポート

それを受け、この日は記事がどうつくられるかを学んだ。5月、大阪市内の父親が中3の長男の背中に才يلをかけて火をつけ、大やけどを負わせた事件を報じた。朝日、毎日、道新、読売の4紙の記事コピーを

さらに、書かれた内容を括した。

鹿部中は、町内ただ一つ

4紙の記事比べ違ひ理解

蛍光ペンで印をつけ、「事実」「伝聞」「予想」に分けさせた。まずA紙とB紙を比較、次いで残り2紙、最後は4紙全体を比較する形で順次読み解き、社によつて記事の要素や表現に大きな差があることをワーカシートに記入しながら学んだ。

同教諭は、「第1報でさえこんなに違う。では、これを読む私たちはどうすればいいのか」と記事との接し方について考えさせた。そして最後に質問した。

政治と暮らしを学ぶ過程で、マスコミ報道はどう関わっていくかを考える授業が、渡島管内鹿部町の鹿部中で行われた。時に無関係な市民を犯人扱いする過ちも犯すマスコミ。だが、国民の知る権利を守り、社会生活を続ける上で欠かせない新聞の役割を実際の記事を使って考え、社会の動きが実感できる授業だ。

(大井一樹・北海道新聞NIE推進センター委員)

「報道にどう関わっていくことが大事だと思いますか」

これに対し、生徒たちは

「思い込みで判断しない」「正確な情報を得て判断した方がよい」など、思い思ひの回答をワークシートに書き込んでいった。

郡司教諭は「マスコミ報道は、民主主義社会で国民の知る権利の保障や、充実した生活を送る上で欠かせない」といつて、全部真実だと思わないこと。逆に事実を誤ったから、とマスコミを追及するだけでは、問題は解決しない。マスコミや警察のせいにするのではなく、気づいたことを自分で考え、私たちがどうやって関わっていくかを考えることが大事なんです」と総括した。

9月末で事務局長を退任した。2年3ヶ月携わってみた。しかし、NIEは知らぬ者と直接会い話を聞くことなど新聞作りの原点をあらためて教えられた。

NIEにこだわらずに浅くてもいいから地道に北海道は「NIEの先進地」とされるが、胸を張つてそう言えるか、内心忸怩(NIE)たるものがある。NIEは最後の仕事になった。小学生からお年寄りまで多くの人と接することができた。幸運だったと思う。

「広く広く」進めよう

前事務局長 黒田 正一

「報道にどう関わっていくことが大事だと思いますか」

これに対し、生徒たちは

「思い込みで判断しない」「正確な情報を得て判断した方がよい」など、思い思ひの回答をワークシートに書き込んでいた。

郡司教諭は「マスコミ報道は、民主主義社会で国民の知る権利の保障や、充実した生活を送る上で欠かせない」といつて、全部真実だと思わないこと。逆に事実を誤ったから、とマスコミを追及するだけでは、問題は解決しない。マスコミや警察のせいにするのではなく、気づいたことを自分で考え、私たちがどうやって関わっていくかを考えることが大事なんです」と総括した。

9月末で事務局長を退任した。2年3ヶ月携わってみた。しかし、NIEは知らぬ者と直接会い話を聞くことなど新聞作りの原点をあらためて教えられた。

NIEにこだわらずに浅くてもいいから地道に北海道は「NIEの先進地」とされるが、胸を張つてそう言えるか、内心忸怩(NIE)たるものがある。NIEは最後の仕事になった。小学生からお年寄りまで多くの人と接することができた。幸運だったと思う。

道NIE推進協事務局長が交代

新事務局長 堀川 勉

「新しい風」に吹かれて



あつて一も二もなく買い込んだ。

大学の授業で、スクラップ記事の30秒プレゼンティーションを実践している先生だけに、著書は全編、「NIEの参考書」の趣さえる。

大学の授業で、スクラップ記事の30秒プレゼンティーションを実践している先生だけに、著書は全編、「NIEの参考書」の趣さえる。

大学の授業で、スクラップ記事の30秒プレゼンティーションを実践している先生だけに、著書は全編、「NIEの参考書」の趣さえる。

大学の授業で、スクラップ記事の30秒プレゼンティーションを実践している先生だけに、著書は全編、「NIEの参考書」の趣さえる。

大学の授業で、スクラップ記事の30秒プレゼンティーションを実践している先生だけに、著書は全編、「NIEの参考書」の趣さえる。

9月末で事務局長を退任した。2年3ヶ月携わってみた。しかし、NIEは知らぬ者と直接会い話を聞くことなど新聞作りの原点をあらためて教えられた。

NIEにこだわらずに浅くてもいいから地道に北海道は「NIEの先進地」とされるが、胸を張つてそう言えるか、内心忸怩(NIE)たるものがある。NIEは最後の仕事になった。小学生からお年寄りまで多くの人と接することができた。幸運だったと思う。

「報道にどう関わっていくことが大事だと思いますか」

これに対し、生徒たちは

「思い込みで判断しない」「正確な情報を得て判断した方がよい」など、思い思ひの回答をワークシートに書き込んでいた。

郡司教諭は「マスコミ報道は、民主主義社会で国民の知る権利の保障や、充実した生活を送る上で欠かせない」といつて、全部真実だと思わないこと。逆に事実を誤ったから、とマスコミを追及するだけでは、問題は解決しない。マスコミや警察のせいにするのではなく、気づいたことを自分で考え、私たちがどうやって関わっていくかを考えることが大事なんです」と総括した。

9月末で事務局長を退任した。2年3ヶ月携わってみた。しかし、NIEは知らぬ者と直接会い話を聞くことなど新聞作りの原点をあらためて教えられた。

NIEにこだわらずに浅くてもいいから地道に北海道は「NIEの先進地」とされるが、胸を張つてそう言えるか、内心忸怩(NIE)たるものがある。NIEは最後の仕事になった。小学生からお年寄りまで多くの人と接することができた。幸運だったと思う。

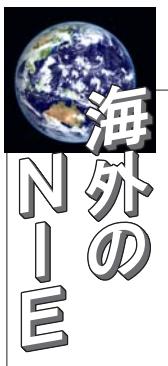
NIKEより、さまざまな媒体情報を批判的に読み解くメディア・スタディーズが主流。双方の違いを知るには自分で現地校へ赴き、日本流の出前講座をしてみるに限ると考えた。

幸いオックスフォードの小学校、グラスゴーの中学校、ロンドンの高校の3校が受けてくれることになつた。道内の小、中、高校の子供たちと一緒を作った教材をスリッケースに詰め、初夏の英國へ向かつた。

小学校では、道内の児童が描いた絵で「日本の10大ニュース」を紹介した。東洋の不思議な世界に魅せられてか、質問が止まなかつた。

中学校では、日英の中学の意識調査結果をもとに授業をした。「あなたは今、幸せか」の問い合わせで盛り上がりつた。英國側は86%が「はい」。道内は半分弱の47%。幸福感をめぐる話し合いは

北海道新聞のNIE推進センター委員として2003年6月、メディア教育の先進地・英國を1人で訪ね



自立心養うメディア学習

4



セント・バルナバス小（オックスフォード）で行った出前授業（左端が筆者） = 2003年6月

チヤイムのあとも延々と続
き、疲労こんぱいだつた。
授業後、校長や教頭らと
話し合つた。「メディア学
習によつて生徒たちに最も
身につけてほしいものは」
と問うと、教頭の1人が
「自立心」と即答した。
「他人の価値判断に頼ら
ず、自分の頭で考え、行動
し、結果に責任をもつ。メ
ディアはそんなトレーニン
グの格好の素材」。教頭の
説明に、英國のメディア教
育観を見た思いがした。各
小学校では職員室などで、さ
まざまなものを見せてもらつ
た。最も印象に残つたのは
小学校の通知表だつた。
各家庭に届けるA4判の
紙の束。教科ごとに、その
子が何に興味を示し、何を
苦手とし、どう克服したか



宿題は小論文 文字の力信じる伝統

編集後記

○…「アンビリーバブルなことが起きたかもしれない」。道産子の鈴木章・北大名誉教授が遂にノーベル賞に輝き、遠い夢でしかなかった賞が一気に身近な存在になった。北大関係者でなくとも、「よし、自分もがんばろう」という気を起こさせてくれる。

○…決定当夜の号外に加え、翌朝の紙面で各紙はしのぎを削った。朝日は各面合わせて6枚の本人の写真を配して立体化。道新もさながら“ノーベル賞新聞”的相を呈した。

○…父を亡くし、進学資金に苦労した、多くの人が使えるよう、特許を取らなかった、国立大学法人になった北大が生き残りをかけてPRに努めた、などの数々の事実。複雑な有機物を合成する「クロス・カップリング反応」という用語も、新聞を熟読してやっと理解できた。教育現場では、この快挙をどう教えたのだろう。子どもの夢を育む、今年最大のニュースを知る手段として、新聞は欠かせない、とあらためて思う。(大)

が、手書きでびっしりと書き込まれていた。生徒への宿題にも驚いた。中学も高校も、毎週2本、3本とエッセーや小説文を書かせる。量が半端でない。字にしてメツセービングを届けないと何も伝わらない。そんな気迫と信念に圧倒された。

英國には日本のように組織だったNIE運動は育っていない。だが、NIEが目指す本来の目標は、しっかりと教育界全体に浸透かりと、共通理解になつていて感じた。

背景にあるのは言葉や文字の力への搖るぎない肯定観だ。シェークスピアの時代から続く、古典を愛し、言葉を大切にする伝統の重みかもしれない。

さすが英國。でも、日本は日本のNIEを育てればよい。帰りの飛行機の中で、そう心に決めたことを今までよく覚えている。

(北海道新聞メディア委員・元NINE推進センター委員 阪井宏)

日本新聞教育文化財団は、2011年度から新学習指導要領・解説書に沿った新しい教科書が小学校で使われるのに合わせ、教師用NIEガイドブックを来年2月下旬に発行する。新指導要領は新聞活用が明記され、新しい教科書には「新聞」が数多く登場てくる。ガイドブックはA4判56ページ。国語、社会、総合、道徳、特別活動など全教科にわたり、

財団 新指導要領に対応

単元の狙い、指導要領との関連、指導計画、評価など、資料としての使い方、記事や写真などの仕方、記事や写真などを分かりやすく紹介することにしている。

ガイドの執筆陣は東京、大阪、京都などの小学校教諭ら10人。まず5千部発行し、財団認定のNIE実践指定校に無料配布するほか、1部350円で販売する予定。

教師用ガイドブック発行へ

IE 苦小牧・日高セミナーは11月6日(土)午後1時30分から北海道新聞苦小牧支社(苦小牧市表町1の3の8)で開かれる。

苦小牧市立泉野小・富岡
賢晁教諭、浦河町立浦河第
一中・近藤弘樹教諭、日高
町立門別中・盛永美樹教諭

11月6日にセミナー

セミナーでは日下部憲一
コーディネーターによる
「新聞を活用した道徳授
業」に続いて実践報告を行
う。参加無料。申し込みは
協議会事務局へ。

お知らせ